

昭和63年9月・NO88-6

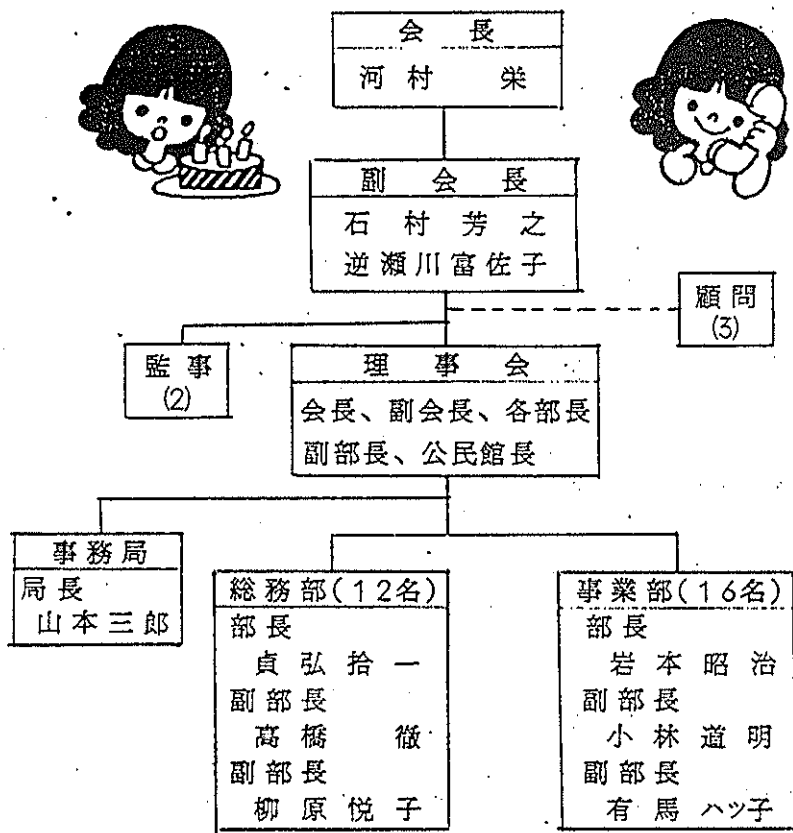
発行 桜木公民館

徳山市城ヶ丘2-4-21

Tel (0834) 28-5973

〈特集〉桜木地区社会福祉協議会(地区社協だより)

桜木地区社協組織図



項目	新	旧
会長の選出	総会で選出する	桜木地区自治会連合会会長を当てる
協議会の構成員(評議員)	民生委員、自治会その他の団体の福祉に関心の深い代表及び有識者(三十名程度)	桜木地区コミュニティ推進協議会の推進員が兼ねる(七十名以内)
専門部の構成	総務部、母(父)子福祉部、身障者(児)福祉部、老人福祉部	総務部、母(父)子福祉部、身障者(児)福祉部、老人福祉部

※主たる改正点は次表のとおりである。*

●桜木地区社会福祉協議会は、徳山市地域福祉促進事業の地域指定を受けて、昭和六十年九月に設立されたものである。本年度役員改選の年に当り、組織、運営の在り方等について見直しを行い、規約を改正して地域に即した活動を推進することとなった。

組織運営構成を改正
地域即応の活動推進を目指して

新旧・会長あいさつ

漸く秋到来を感じさせる今日この頃、桜木地区の皆様には益々ご健勝のことと思ひます。私去る六月、桜木地区社会福祉協議会の総会において会長に選任され、お引受けしたものの職の重さに身の引締まる思いです。

さて、人生八十年時代とも百年時代とも言われ、当地区も高齢化社会の仲間入りをしようとしております。

桜木地区は六十年九月に地区社協が設立され、山本忠由初代会長を中心に事業活動の推進をされ、新しい街『桜木地区』で地域の方々の交流がいかに大切かを感じてまいりました。

お子様からお年寄りまで、自由に気持ちよく参加できるボランティア活動を、皆様と共に推進して行きたいと思っております。

社会福祉については無学の身です。皆様のご意見ご要望等お聞かせいただき、住みよいあたたかみのあるふるさと作りをしようではありませんか。

三月末までの六年間、体育振興会長として地区の皆様方に一方ならぬご支援とご協力をいただき、無事に任務を終えましたことを紙面をお借りして御礼申し上げます。

今後とも益々のご支援ご協力をお願いし、簡単ではございますが就任のご挨拶をさせていただきます。



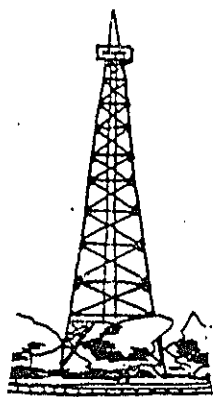
河村 栄

地区社協設立以来二年余り、会長を務めさせて頂きました。その間皆様方には大変お世話に相成り、有難うございました。紙面をおかりしていただきまして御礼を申し上げます。

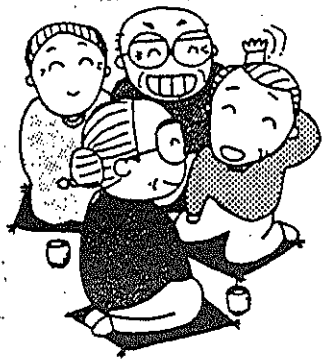
福祉の大切さは充分わかっていながら、何をどうしたらよいのか、方向も定まらず、満足なお世話が出来なかつたことが心残りであります。

しかしながら、いろいろな試行錯誤を繰返しやってみましたが、独居老人の皆様方との会食、思いやり文集の発刊等、大変よろこばれたこともありまして、曲りなりにも少しは方向が見えたように思います。

このたび、地区社協の規約の見直し(改正)を実施、会長も兼務でなしに専任としたいという私の意見をくんで頂き、新しく河村 栄さんを会長に迎えることが出来ました。誠に適任者でございまして今後は会長を中心に益々地区社協が発展をし、福祉の充実にとりくんで頂けるものと確信をし祈念致します。退任の挨拶と致します。尚、退任したとは申せ、今後とも出来るだけの御協力はさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。



山本 忠由



寄稿

「Aさんこんにちは！ 民生委員のBです。その後調子はいかがですか？」
 「はい、ありがとうございます。おかげ様で...」これは、ひとりぐらし老人などを訪問したとき交わす言葉。なんら変わった会話でもないがその時、厚い信頼と温かい満足感みたいなものが心の中にたただよいます。一日一善、今日もなにか善いことをしたような気持ちになります。

さて、福祉のことになると、つい誰もが難しく考えるのではないのでしょうか。確かに最近、社会福祉とか在宅福祉などといった用語が沢山使われるようになってきました。御存知のように我が国は高齢化社会を迎え、人口の都市化や核家族化が進んでいます。このため家族や地域における扶養や互助機能が随分と低下したと言われています。

昭和八十年には、六十五才以上の方が二千万人を越え、寝たきり老人、障害者、交通事故、少年非行等もますます増え、大きな社会問題となつてまいります。

このような現象は、当桜木地区も例外ではなく、従来の福祉サービスでは到底対応できなくなり、『新しい社会福祉のあり方』が問われるようになってきました。

（地区社協の基本を考える。）

「心の福祉」について

福祉は本来的には、行政の責任において制度的に保障されるべきものと思えます。しかし、現実には行政の行うヒト、モノ、カネによる福祉には限界があります。殊に風土や人間関係に基づく精神的な充足などは、なかなか期待できません。そこで公的な福祉と並行し補完的役割として、民間（地域）レベルでの社会福祉が要求されてくる訳です。

「住民の、住民による、住民のための福祉」これが地域福祉の基本であると思えます。この地域福祉を制度化したものが『桜木地区社会福祉協議会』と言えるでしょう。

今後、コミュニティ組織や各団体との連携を強化して、住民一人一人の温かい理解と協力のもとに、立派に運営されることを期待しています。「一人の百歩より百人の一步」が大切。私は行政ではどうしてもできない「心の福祉」が最も重要だと思えます。

円満な家庭から向こう三軒両隣、助け合い思いやりの心の輪が広がり、お互いが住みよい地域になることを願っています。
 福祉は重々しく難しいものではなく、明るく心を開くことから始まるものではないでしょうか。

民生児童委員

石村芳之

お知らせ



284名

これは、桜木地区11自治会内における、70才以上の方の数です。（市社会福祉協議会調べ。）

この284名の中で90才以上の方が7名、88才の米寿の方が5名居られます。

老人振興大会

とき 9月27日（火）
 ところ 徳山市民館で
 開会 10時 受付9時~9時50分
 1部 式典
 2部 モデルクラブ発表
 3部 演芸のつどい

（観のつどい⇒11時40分から）
 この振興大会での表彰受賞者で、桜木地区関係者は次の通りです。（敬称略）

- ★一般功勞。松村亀夫、竹本忠次、山本操。（壯3名）
- ★金婚。野村博仁、久栄山本健史、幸子

運動会の日程

桜木小学校	9月25日（日）
周陽中学校	9月18日（日）
城ヶ丘保育園	10月9日（日）
小さき花幼稚園	9月23日（日）
中央幼稚園	10月9日（日）

フェスティバル7000のTシャツを販売します

秋のフェスティバルを機会に図案化したネーミング（文字の背景を部分着色）を印刷（シャツの左胸部分に小さく印刷）したTシャツを作ります。（1枚1000円）10月販売にご協力を。

高齢者の交通安全強調月間
 9月1日（例）～9月30日（例）
 おじいさん、おばあさん
 車に気をつけて下さい
 事故の多くは道路の横断中です。

迷子のチャボに
 心当りは！！
 城ヶ丘3丁目5の8の逆瀬川さん方に、夏の初め頃から1羽のチャボが迷い込んで来て困って居られます。飼い主の心当りの方は☎28-1495まで連絡して下さい

大イベントだよ！ みんな集まれ



（桜木地区秋のふれあいの集い）
つしゅ桜木
フェスティバル7000

★10月16日[日]★桜木小校庭で（雨天、体育館で）
 10時開会（花打ち上げ）15時閉会予定。[8時に花火大会]

各自治会が種目ごとに受け持って開店するユニークなバザーです。皆が協力しましょう。前売券の予約申込みにも各自治会が互いに協力を。

